思い出のアルバム

昭和三十年代の総合病院

奥村留吉さん（谷地町・62歳）

明治十二年、大館私立大館病院として創設され、その後明治十五年に公立総合病院、そして昭和四十一年には大館市立総合病院となりました。

私は昭和三十二年から病院の夜警として働くようになりました。今とは違い一人勤務のため火災や盗難には人一倍気をつけなければならなく、ときには病院内によっぱらいが来て私のシャツを引っぱるやら、時計をはぎ取ろうとするなど大変でした。それでも患者さんに「ご苦労さん」と言われると、苦労も吹き取んでしまいます。

ちびっこギャラリー

ぼくのお父さん

たむら はるやくん（5歳）

ささき ようすけくん（5歳）

かすだ けんじくん（5歳）

長木保育所

数字で見る 大館市

千二百五回

「ピーポー、ピーポー」と毎日のように鳴らして走っている救急車。五十九年中に救急車が出動した回数は千二百五回、一日平均三・三回となっています。

このごろ「子供がカゼをひき、熱がある」などのときでも、すぐ救急車出動を要請される市民が見うけられます。救急車は、災害によって生じた事故や急病などによりすぐに専門医に見てもらわなければならない人たちを搬送するためのものです。

「いざ」というときには、あわてずにおちついて一一九番へ電話してください。また、市内の各医師が行っている夜間診療所などもご利用ください。

施設めぐり ⑫ 広域し尿処理施設

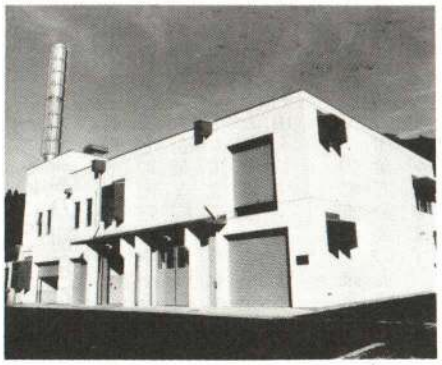
昭和三十九年、市が沼館に「し尿処理場」を建設し、その後増改築を重ねていましたが、この施設も老朽化が進み、また、処理量も増加したため六十年四月、松木字高館地内に「広域し尿処理施設」が完成し、操業を始めました。

この施設では、一日の処理能力は十万三千人分、百六十キロリットル。し尿の投入から放流されるまで、すべて建物内で密閉処理される低希釈二段活性汚泥処理方式の近代的な施設です。

投入されたし尿は、「前処理」で布切れやビニールなどが取り除かれ、次に「脱窒素処理」で窒素や有機物を高い効率で除去、さらに「高度処理」でリンや浮遊物が取り除かれて無色透明な水になり下内川に放流されます。また汚泥は乾燥、燃却して減量され、安全無害な灰になります。

なお、現在、し尿くみとりは市内二業者が行っていますが、くみとりの際には必ず立ち合い、計量器を確認してください。くみとり料金は、百八十リットルまで七百五十円、これを超えれば十八リットル増すごとに七十五円が加算されます。

ごみやし尿についての問い合せは市役所環境衛生課までどうぞ。☎42～2169



テレホン・リサイクル

婦人会館　☎49～7028

〈譲ります〉

スーツ、レインコート、ショルダーバッグ、半コート、ママコート、サイフ、学生カバン、ヘルメット、ジーンズ、机、ダブルベッド、応接セット、テーブル、アルミサッシ、足踏ミシン、編機除湿機、ガステーブル、瞬間湯沸器、スキー用品、野球用スパイク、剣道具、サーフボード、ベビーカー、ベビーバス、歩行器、自転車、電気オルガン、ステレオ、琴、三味線、タイプライターほか

〈譲って下さい〉

ママコート、学生カバン、ロングブーツ、スカート、柔道着、腕時計、レインコート、机、長椅子、二段ベッド、応接セット、アルミサッシ、編機、洗濯機、ロックミシン、ガステーブル、瞬間湯沸器、石油ストーブ、スキー用品、卓球台、キャンプ用寝袋、テニスラケット、ベビー布団子供服、ベビーカー、スベリ台、自転車、ピアノオルガン、琴、三味線、車椅子、タイプライターほか

～6月20日現在～

勤労青少年プールの休日お知らせ……7月6日と25日～28日は中学総体など各種大会のため休ませていただきます。また、幼児用プールも26日の午後から28日の午前の部まで休みとなります。